



2023年8月22日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代表者名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証プライム)
問合せ先
役 職 取締役 CEOオフィスセンター担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

(開示事項の経過)

当社子会社による京都大学 iPS 細胞研究財団® (iPS財団) との センダイiPSの使用条件に関する覚書締結のお知らせ

当社の100%子会社である株式会社IDファーマ(以下、「IDファーマ」という)は、同社の基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いたヒトiPS細胞を作製する技術(以下、「本技術」という)を所有しており、公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団®(以下、「iPS財団」という)のiPS細胞ストックプロジェクトにて、本技術を用いて作製された臨床用センダイウイルスiPS細胞ストック(以下、「センダイiPS」(※1)という)の提供が開始となっております。

この度、iPS財団が提供するセンダイiPSの第三者の使用条件をより明確にすることについて合意し、覚書を締結することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. センダイiPSの使用条件に関する合意について

2023年4月6日付「京都大学iPS細胞研究財団®(iPS財団)が提供する新たな臨床用iPS細胞ストックに当社子会社の技術が採用されたことのお知らせ」の通り、iPS財団のiPS細胞ストックプロジェクトにて、本技術を用いて作製されたセンダイiPSの提供が開始されております。

この度、iPS財団のiPS細胞ストックプロジェクトを通じてセンダイiPSを取得する第三者の使用条件についてIDファーマとiPS財団で合意し、覚書を締結することを決定いたしました。使用条件が明確になることで第三者によるセンダイiPSの使用が促進されることが期待されます。

2. 今後の見通し

本件による2024年3月期の業績への影響は軽微ですが、本件は、当社グループの基盤技術が新たな再生医療・細胞治療製品等の研究開発に貢献することが期待されるものであり、センダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出し、中長期的な当社の業績に寄与するものと考えております。

※1. 詳しくはiPS財団の「センダイウイルスiPS細胞ストック」ページをご覧ください
<https://www.cira-foundation.or.jp/j/research-institution/ips-stock-project/SeV.html>

以 上